

## <みんなの日記>

3月24日

中3 男子

事前研修。初対面の人との会話。やや人見知りの僕は慣れないながらも積極的に行動し、出来るだけ仲間を増やそうと考えた。初日の行動でその人の印象が付いてしまうのなら話さないでいると、これからも話せないような気がした。だから積極的になったのだ。そのおかげでメンバーとの距離が縮まった。このメンバーでイギリスに行くのが楽しみだ。

高2 男子

メンバーとの初の顔合わせの日。事前にメンバーの年齢は知っていたので、自分がまとめねばと、いう自覚はあった。いざ会ってみると、自分と変わらぬ背格好で本当に自分より年下なのか？という疑問を抱いた。オリエンテーションでは、様々なゲームを交えてメンバーの顔と名前を早く覚え、仲良くなうと努力した。ホテルの部屋に戻った後は、ひどく緊張していたせいか、精神的にも体力的にも疲労が激しく感じられた。きっとイギリスに行けば、慣れない地での生活で更に疲れるに違いない。緊張している反面、ワクワクした気持ちもある。そんな明日に備えてゆっくり休みたいと思う。

中3 男子

新潟、北海道、岩手、福島など色々な地域からやって来た7人と仲良くなれるかとても不安だったが、積極的にコミュニケーションをとれて仲良くなれたと思う。皆個性が強かったけど、イギリスでもこのメンバーで協力していきたいと思う。

3月25日

中3 男子

バイキングの朝食は美味しかった。事前研修でのPPAPの練習が意外と難しい。昼食。やはり美味しい。最後の事前研修を終えて空港へ。バッテリーが手荷物なのは初めて知った。ここで両替、ポンドを手に入れた。イギリス気分。出国後もかなり時間があつた。定刻通り香港までの飛行機へ。和食の機内食はなかなか美味しい。モニターで暇をつぶす。予定通り香港着。時刻が1時間戻る。飲み物は捨てないといけない。乗り換えは楽。夜だったが香港の気分を体験した。ガトウィックまでの飛行機に乗り換え。中席。先程より新しい飛行機だったのできれいで快適。入国カードを書き1時間ほど寝て、機内食を食べるも、米が口に合わない。機内は揺れた時もあった。

現地時刻6時前に機内食。6時30過ぎにはイギリスの街並みが見える。無事着陸するも、荷物が取り違えられそうになる。ロンドン、寒い。

中3 男子

人生初の機内泊。正直かなり不安だったが、思っていたより快適な空間だったので、寝てしまった。次の日の朝、起きると飛行機の中。なんとも不思議感覚である。日本から香港のフライトでは好きな映画を二本見ることができた。機内食はまずくなく、普通に食べれた。何一つ不満はない。ただ一ついえるのは、お尻が痛いことだけだ。

3月26日

中3 男子

機内泊はあまり好きではない。時間的にあまり眠れず、時差の関係で食事まで十数時間の間隔があり、非常に腹をすかしていた。あのときなけなしの体力を振り絞ってなにか食べ物をリクエストしておくべきだ

った。ホストファミリーと合流したが、想像よりもはるかに高い言語の壁にぶち当たった。速すぎるのだ。四歳児が相手でも聞き取れないことが多々ある。それでもジェスチャーをしたり何度も聞き返したりしてどうにか意思疎通できた。

### 中3 男子

香港からイギリスまでのフライトでは、前のフライトで疲れていたのか、すぐに眠ってしまいました。ロンドンに着くと、外国に来た。と言う実感がようやく湧いてきて、興奮してしまいました。サウスポーまでのバスの中では、ぐっすり眠っていました。ホストファミリーの家に着くと、犬が出迎えてくれました。最初に写真を用いて、自分の住んでいる場所、東京・京都の説明をしました。その後、夕方部屋で寝てしまい、夜の2時に目が覚め、そこでシャワーを浴びてまた寝ました。なんとも疲れた1日でした。

### 3月27日

### 中3 男子

今日はレベル分けテスト。このテストの結果でクラス分けされるそう。他国の人と会話できるのは、とても楽しみだが、日本の仲間と離れてしまわないか心配だ。午後の southbourne 見学はとても楽しかった。街並みが日本と全然違った。個人的にはイギリスの街並みの方が好みである。

### 高2 女子

今日は朝1人で学校まで登校することができた。チェリーさんと練習したおかげで、迷うことがなかった。学校のクラスは、タイ、サウジアラビア、スイス、私たち日本から来た9人だった。年齢がさまざまで40歳の人までいた。学校の先生たちはゆっくり丁寧に話してくれるので話している内容を理解して話すことができた。また、今日は買い物をするのができた。色々買えて良かった。ホストファミリーとは、私が話せなさすぎて、通じないこともあったけど、理解しようとしてくれたし、私も身振り手振りでなんとか伝えることができて良かった。まだ、ホストブラザー、シスターと話せてないので話しかけたいと思った。

### 3月28日

### 中3 男子

6:40 起床                    7:00 朝食  
8:25 家出発                8:40 学校到着  
9:00~12:30 Richardの授業  
12:30 ランチ  
13:30~ポーンマスの中心街へ ショッピング、クイズ、自由散策  
17:45 帰宅                    18:15 夕食  
20:00~宿題、Japanナイトへの準備  
22:00 就寝  
朝食 パン、紅茶、ヨーグルト  
昼食 フライドポテト、ソーセージ、豆  
夕食 ボロネーゼパスタ

今日からいよいよ授業だ。今日は遅れないように少し早めに家を出た。しかし…学校へ行ってみるとクラス替えがなかったようなので少しがっかり。日本人のジュニアチームとタイ人の15歳の女の子 Natasha と授業を受けた。これから4日間お世話になる先生は Richard。ベジタリアンでヘビを飼っている少し変

わった先生だ。授業では自己紹介をして、現在形と現在進行形を英語で学び直した。午後のアクティビティではボーンマス中心街へ行った。クイズでは街の人に何回もインタビューすることで優勝することができた。ボーンマスの人たちは質問をすれば何でも答えてくれる優しい人たちだった。フリータイムで立ち寄ったマクドナルドではホットペリペリチキンを食べた。日本では販売していないので味わって食べた。ボーンマスは大きくもなく小さくもなく丁度良いサイズの街で、また訪れたいと思わせてくれた。待ち合わせポイントで待っているとドイツ人グループが話しかけてきて、その女の子が How do you say motherfucker in Japanese? と、聞いてきたので答えたら反応が良かった(笑)

### 中3 男子

今日は初めての授業だった。授業は勿論全て英語で行われたが、意外とよく聞き取れた。昼食は昨日より美味しかった。午後はボーンマスに行き、グループ別に色々な所を回った。お土産屋が数軒あり、そこでお土産をいくつか買った。その後、ドイツからの留学生と会い、交流することができた。湯船がなく湯冷めしてしまったため風邪を引きそうになった。今日はゆっくり寝たい。

### 中3 男子

今日は初めての授業で緊張したが楽しくできた。自分の大好きなスターウォーズのダースベイダーのぬいぐるみを買ったり、日本の色々な地域の出身の友達と観覧車に乗ったり充実した一日だった。また、イギリス人の美人な人に話しかけられて I love Japan と別れ際に遠くから大きな声で言われたのは嬉しかった。もっともっとイギリスで充実した日々を送りたい！

## 3月29日

### 高2 男子

今日の授業は主に聞き取ることを注意して参加した。昨日より今日の方が話せたと思うが積極性がまだまだだと自分でも思う。残りの数少ない日数の中でより多くのコミュニケーションをとらなくてはならない。午後の Christchurch 見学では、日本ではあまり見ることの出来ない教会の内部の見学ができ、貴重な体験ができたと思う。

### 中3 男子

6:50 起床      7:20 朝食  
8:30 家出発    8:45 学校到着  
9:00~12:30 授業  
12:30 昼食  
13:30~クライストチャーチ・教会周辺散策  
17:50 帰宅      18:15 夕食  
20:00 宿題      22:00 就寝

朝からどんよりした水曜日。道路には夜中に雨が降った跡があった。今日もクラス替えはない模様。今日の授業では state(状態)と activity(行動)の verbs の違いについてと education and work について学習した。授業には十分ついていけた。今日の昼食はスパゲッティと聞いていたのだが置いてあったのはカレーっぽい色の麺だった。味はなかったの何とか食べられた。午後のアクティビティは歴史ある街 Christchurch へと向かった。priory はとても重厚なつくりで、普段はなかなか見ることのない教会に興味した。街の中心はこじんまりとしていて買い物がしやすかった。今日の1番の発見はイギリス人が好ん

で食べているサラダクリーム。マヨネーズと違ってさっぱりしているので食べやすい。お土産に買っていいと思った。

**3月30日**

**中3 男子**

今日はクラス替えが無かった。授業も残す所後1日でもうクラスは変わらないのかもしれない。少し残念だ。午後はビーチアクティビティでバレーボールとクリケットをした。クリケットは日本人が自分1人だけで他が全員タイ人だった。言語じゃなくてスポーツで心を通わせることができることに感動した。ジャパンナイトではけん玉やダンスを披露した。みんな興味を持ってくれて嬉しかった。はっぴとけん玉を欲しいと言われたのでタイ人にあげた。明日は最後の授業なので楽しみたい。

**高2 男子**

今日の午前中の授業は内容は比較的簡単だったもののやはり聞き取ることが難しかった。Trish (先生) から、「あなたの発音はとっても素晴らしい」と言われたのが嬉しかった。夜の Japan night では、事前に打ち合わせをしたものや、各自で持ち寄ったものを披露し、日本を知らない海外の方に日本について知ってもらい、楽しんでもらえたことが嬉しかった。また、自分達自身が日本の遊びを改めて知ることができた企画だった。

**3月31日**

**中2 女子**

学校にスルメを持っていったら、KSKK の仲間にとっても人気！1時間目のあとのおにぎりと味噌汁は、久しぶりの日本食で、とても美味しく感じた。今日は Hengisbury Head nature の見学。そこで食べたストロベリーアイスが美味しかった!! 歩き続けていくと、とても風が強く寒い。今日はずっと歩いていたので、足が疲れた。家に帰って夕食を食べたあと、書道の道具をプレゼントしたら、とても喜んでくれていた。家ではホストブラザーが PPAP を聞いていて、人気になって本当によかった!! キセキも聞いて、評判が良く嬉しかったです。

**中3 男子**

最後の授業は実にあっさり終わった。評価はなかなか良かった。素晴らしい。海は、昨日の内容とやや被っていた気もするが、天気も良く、アイスも食べられたので、一味違った趣であった。昨日のジャパンナイトで作った折り紙を子供たちに見せたら大好評で、折り方を教えてくれと頼まれた。またとない好機だと思い、二つ返事で承した。二人共まだ拙い折り方だったが、様になっていた。

**高2 男子**

今日は最後の授業でした。残念な事に先生が変わってしまいました。とても退屈な授業でした。先生が自分の言ったジョークに笑ってくれたので嬉しかったです。午後は歩きました。打理王とたくさん話しました。生物の事について英語で話しました。とても良い経験になりました。中学生はとてもレベルが高く、自分も頑張らなければならないと感じました。明日のロンドンが楽しみです。

4月1日

中3 男子

6:30 起床            7:00 朝食  
7:30 学校出発、ロンドンへ  
9:30 ロンドン到着  
11:45 ウェストミンスター、ビッグベン  
12:20 テムズ川クルーズ  
14:00頃 大英博物館へ  
17:00 ロンドン出発  
19:00 サウスボーン到着  
20:00 夕食            23:00 就寝  
朝食 ヨーグルト、ジュース  
昼食 サンドイッチ+マックのラップ  
夕食 ペッパローニピザ

今日と明日はイギリスを満喫するぞ！と決めていた。サウスボーンからロンドンへ近づくにつれ、都市らしくなってきたととても興奮した。ロンドンへはあと人生で何回来るか分からない。だから今日の4月1日は僕の人生において忘れられない1日となった事だろう。ロンドンにある建物は全てが凝っている。現代的な建物においても日本では考えられないようなアートの物ばかりだ。やはりヨーロッパの建築物は素晴らしいと実感した。ビッグベンやウェストミンスター、ロンドン橋…全てが有名で、テレビに出てくるようなものだ。しかし、上空がやけに物々しい。ポリスのヘリコプターがパトロールをしていた。地上でも人々がデモをしていたり、警察が至る所にいたりした。多人種の街というのはいい所もあるがこういう一面を見るとゾッとした。大英博物館は思ったよりも大きく、世界中からの珍品をみる事ができた。今度ロンドンを訪れたときはもう少しじっくり見てみたい。

中3 男子

今日は、朝早起きで少し眠かったです。ロンドンへ行く途中の休憩で、コーヒーを飲んだので行きは寝ずに来られました。市内を歩いていると、さっそく馬に乗った人がいてカルチャーショックでした。ビッグベンやタワーブリッジでは、「自分がすごい場所にいるんだな」と、思われました。東京とは全く違って、今と昔が混ざっている感じの街並みがとても刺激的でした。博物館では、有名なロゼッタストーンが見られて感動でした。他にも見たかったところはたくさんあったけれど、時間がなくて見られませんでした。博物館の店で 9.99 ポンドもするペンを買ってしまいました。お金が使えて快感でした。帰ってから美味しいピザを食べさせてもらって、嬉しかったです。疲れていたのかすぐに寝れました。

中3 男子

早めの起床。朝食はシリアル。移動中は寝る。バスでロンドン市街へ、流石に人も車も多い。まずはバッキンガム宮殿へ。警備の人の交代もあって、馬が道を歩く姿を見ることができた。ビッグベンはさすがの存在感。ウェストミンスター付近には献花が置かれていた。テロとは痛ましいものだと思う。街には多数の警官や監視カメラが存在し、デモ隊などもいて結構物騒だった。テムズ川クルーズは景色の変化が多くとても楽しかった。船の上での食事もいいもの。コベント・ガーデン付近ではマックで軽食を取り大道芸を見る。その後大英博物館へ。広すぎて何から見ればいいのか見当もつかないが流れである程度見る。お

みやげに浪費。大英博物館から車まで戻るのは意外と遠かった。帰りは遅くなった。夕食はピザ。明日の支度と荷造りに着手する。

中3 男子

6:00 起床            6:30 朝食  
7:00 学校へ        7:30 学校出発  
10:00 ロンドン到着、観光スタート  
ビックベン、バッキンガム宮殿、船で観光、大英博物館  
20:00 学校到着  
20:30 帰宅        22:30 就寝

渡英する直前にロンドンでテロがあり、行けるかどうか分からなかった中、なんとか行けるようになって良かった。午前中はバッキンガム宮殿に行き、その後船に乗りロンドンの建物を見て回った。途中で見たとても大きな軍艦がとても印象的だった。午後は大英博物館に行き、色々見て回った。ヒエログリフが1番印象的だった。明日はイギリスで過ごす最終日なので最後まで楽しみたい。

4月2日

高2 女子

今日はオックスフォードに行きました。すごく街が綺麗で THE イギリスGBって感じでした。お店もいっぱいあって楽しかったです。本当にショッピングは楽しかったです。楽しすぎてお金を使いすぎてしまいましたが、、、。あと、マックを食べたのですがすごく美味しかったです！多分、私の味覚がおかしくなければ日本より美味しいです！また食べに来たいです。

高2 男子

昨日はロンドンへ行きました。ビッグベンや大英博物館へ行きました。世界史の授業で習ったロゼッタストーンを、目の前で見て歴史を感じました。お土産を沢山買いました。その中でも How to be a British という本はとても面白いです。これから行くオックスフォードも楽しみです。今日はオックスフォードへ行きました。ハリーポッターのロケ地を観れた事に感動しました。打理王と颯人くんと買い物を楽しみました。打理王とは沢山英語を話しました。早口言葉を教わったり、ハリーポッターについて会話をしました。彼は本当に良い人だと思いました。明日はついに最終日です。別れが辛いです。おやすみなさい。

中2 女子

今日は一番楽しみにしていた、オックスフォード!! 両替を済ませて、さっそく買い物に行きました。はじめは勿論服屋。店によって値段も違うが、3枚で20の場所もあって、いい買い物ことができました。本屋に行くと、そこは5階建てで、思った以上に広く、楽しかったです。世界地図はイギリスが中心で面白かったです。マックは安くて美味しく、行って良かったと思いました。日本より美味しかった気がした!!家に帰って、荷造りを始めたが全然入らなくてびっくりしました。今日は最終日。イギリスとても楽しかったです!!

4月3日

中3 男子

5:30 頃起床。パッキングも大詰め。最後の朝食はシリアル。ホストファミリーと写真を取り、ホストマザーには電話で別れを告げる。車に乗って学校へ。こちらはとても悲しかったが、向こうは平気そう。

7:30 頃にバス発車。途中マックでフラットブレッドを購入、なかなかの味。ガトウィックで、運転手とのお別れ。手続きや検査が進むほどに自分がイギリスから離れていく悲しさ。ただ、最後のショッピングは楽しかった。定刻通り香港行きの飛行機。

## 高2 女子

今日はイギリス最終日。ホストファミリーとお別れをした。『またここに来てね!』と最後に言ってくれて本当に嬉しかったし、また来たいと思った。本当にイギリスの人は親切で礼儀正しい人ばかりだなあと思った。今回イギリスに行き、イギリスのことが好きになったし、また来たいと思った。

## 中3 男子

今日は最後のイギリスでした。飛行機に乗るまではイギリスの景色を少しでも長く見ていようとずっと起きていました。機内で少し具合が悪くなりましたが何とか成田まで帰ってこれました。久々の日本がまだ受け入れられず心にな気持ちでした。友達との別れはとても辛かったです。またいつか会いたいです。

## 4月4日

## 高2 男子

今朝はロンドンのガトウィック空港から香港経由で日本に帰りました。機内食が美味しかったです。特にハーゲンダッツが。映画を観ました。ホストファミリーが面白いと言っていた Trolls を観ました。その他に Passenger とモアナを観ました。面白いと思いました。この研修に参加できて良かったです。

## 高2 男子

いよいよこの長かったようで短かったイギリス英語研修&ホームステイ全日程が終わる。帰りの飛行機では皆疲れが溜まっているのか比較的静かだった。このような貴重な体験ができ、またこの最高の仲間と出会えたことがとても嬉しく思う。また、海外に留学に行くとなったら、この同じメンバーでもう一度行きたい

## <みんなの感想>

## 北海道 中学2年 女子

イギリスに行って驚いたことは、自分はまだまだ英語力が足りないということです。初めてホームステイ先の家に行った時、日本の文化など伝えたいことがあるにもかかわらず、何とっていいかわからず上手く伝えられませんでした。そこで重要になったのが、ジェスチャーです。事前研修会でも行ったように言葉が上手く通じない相手に対して、どう自分の気持ちを伝えるかということが大切だと感じました。ホームステイをしていると、自らコミュニケーションをとろうとするので、以前より積極性がうまれました。また、英語を聞くことに慣れてくると、ホストファミリーが会話していることが何となく分かり、英語を聞くということが「楽しい!!」と思えるようになりました。イギリスでの生活は食べ物が口に合わなかったりしないか、生活習慣に馴染めるか…などたくさんの心配がありました。しかし、実際に行ってみるとホストファミリーはフレンドリーで、料理もとても美味しくてびっくりしました。学校のカフェテリアで食べる、サンドウィッチも美味しかった!お昼になると暖かいけど、朝晩は寒く家にはストーブがなかったので、みんな寒くないのかと思いました。オックスフォードでマックに行くと、日本より美味しかった!リスや鳩がいろんなところにいる、自然を身近に感じる事が出来ました。1週間いると、ロンドンは少し怖いけど、イギリスはとてもいい国だと

思いました。授業が難しかったり、なかなか伝えたいことが伝わらなかったり、色々困難はあったけれど、その中でもオックスフォード、JAPAN NIGHT、仲間との交流。楽しいことばかりで毎日が充実していました。本当にありがとうございました！

#### 岩手県 高校2年 女子

私はイギリスに行き、沢山の事を学んだし、素晴らしい経験をする事ができました。学校ではさまざまな国の人が出て、いろんな国のいろんな話を聞くことができたし、友達もできました。本当にいい経験ができたなと思います。また、イギリスに行ったことで、日本が改めて好きになりました。食べ物、トイレ、お風呂など、やっぱり日本が1番だ！と思いました。今回このような経験ができて本当に良かったと思います。自分の将来について考えることができたし、日本から一緒に来たみんなからたくさん刺激をもらうこともできました。これから、またイギリスに行きたいと思ったり、英語の勉強をもっと頑張りたいと思いました。

#### 神奈川県 中学2年 男子

僕はイギリスのサウスポーンへ9日間語学研修に行きました。とても充実した毎日であつという間に過ぎ、まだまだイギリスにいたいな…と、とても感じました。学校のサウスポーンスクールオブイングリッシュでは、日本とは違い先生が基本話しているのではなく、生徒に常に意見が求められ、「生徒が授業を作っていく」と、いう感じでとても新鮮でまた、日本の授業もこうあってほしいなとも感じました。学校で行ったJapan Nightは副リーダーとしてMCをよく頑張れたかなと思います。

文法が曖昧でもジェスチャーと抑揚をしっかりつければしっかりと通じるということがわかりました。午後の活動ではボーンマス、オックスフォード、ロンドンなど色々な場所に行き、全てが印象に残っています。中でも一番印象に残ったのはロンドン見学でした。これは自分の中で一生忘れないのではないかと思います。今まで教科書などで見てきたビッグベン、ウェストミンスター、大英博物館やタワーブリッジなど数々の有名で歴史的な場所を訪問してとても印象に残っています。しかし、その裏ではホームレスの方が“give me money”と言ってきたり、EU離脱やロンドンの車暴走テロなどに対するデモ、ストライキなどが起きていて警官も沢山いて、ただならぬ雰囲気を感じて平和ボケしている日本人の僕にとってなかなか体験できない事だと思いました。

僕は今回の研修を通して学んだことの1つは英語の難しさです。アクセントの位置を間違えるだけで英語が通じなかったりとても難しい事だらけでした。

2つ目は普段感じる事の出来ない街にある危険です。ロンドンでみんな買い物してるのになぜか少し緊張感があったりしてこんなこと日本にはないな…と感じました。

今回イギリスに行かせてくれた親やサポートしてくれた色々な方に感謝し、英語がもっと通じるように頑張っていきたいです。

#### 神奈川県 中学2年 男子

今回の研修はただ英語を学ぶだけのものだったか？それは多分、いや絶対に違うと思う。今まで海外旅行は家族と一緒にしか行っておらず、自分で英語を使う機会もなかなか少なかった。しかし今回は違う。イギリスの家庭にお邪魔してイギリスの生活を肌で感じ、学校では多国籍な環境で英語を学び交流する…。今回で一番英語を学んでいて良かった！と実感した時はSouth Bourne School of Englishのカフェテリアで開催されたジャパンナイトだったと思う。ジャパンナイトではリーダーを務めさせていただき、グループの仲間と相談しながら企画、運営をした。ホストファミリーや学校の留学生などが来てくれて会場は大いに盛り上がった。折り紙を英語で説明するのは難しかったが、海外の人達と自国の文化をシェアするこ



とができたのは自分の人生において尊い経験となったと思う。このプログラムは KSKK でしかできないと思うので参加して本当に良かったと思う。ホストファミリーも温かく歓迎してくれ、もう 1 人のゲストであるスイス人留学生とも交流できた。生涯続く関係を築けたと思う。午後のアクティビティも毎日充実していて、特にグループでクイズをする時は、町の人たちにインタビューしたりして実践的な英語を学ぶいい機会だった。一緒にアクティビティに参加していたタイ人グループやツアーのインストラクターとの会話も忘れられない。今回の経験を通して学んだことは、日本で得られる海外の情報はほんの一部に過ぎず、それもステレオタイプであるということ。実際現地に行くことで、出会い、体験し、様々な学習をして帰ってくる。これを体験することで自分の英語力をさらに磨くことができたし、成長できたと思う。イギリスで沢山の友達と出会い、将来につながる学習をして帰ってくる事ができた。今回の経験をサポートしてくれた KSKK の皆さんや学校、家族に感謝したい。

### 東京都 中学3年 男子

私が今回イギリスで語学研修をした際に思ったことはいくつかある。そのうちの 하나가、伝えることの難しさ。例えば飛行機の機内食だって、英語を使わないと頼めない。日本語に逃げることはできないから、英語を使うしかない。しかも英語があっている自信はないから、ひよっとしたらこちらの意図しない物が出てくるかもしれない。そんな不安を生活の間感じていた。とはいっても、結論から言えば生活に困らなかった。まあ英語が少しくらい下手でもなんとかなるさ、ということがわかった。また一つが、異文化を直に体験することの意味。イギリスの文化は日本のそれとは大きく異なる。全体的な印象としては、人の心にゆとりがあるように感じた。何をするにも穏やかに、ゆったりとしているようで日本人とはだいぶ違うと思った。印象に残っているのは、ホストファザーが出張でリバプールに行く朝、「寝坊しちゃったよ。あんまよくないね。」といったこと。日本人であれば冷や汗をかいているだろうに、そんなときにも落ち着いてゆとりがあるのがイギリス人なんだな、と思った。そして、東京に比べてロンドン治安が悪い。道にいる警官の多さに圧倒された。こんなに警官が必要なほどに治安が悪いのかと思うと残念だ。監視カメラも多数設置されていたし、防犯には力を注いでいてもテロが起きてしまう。欧州が直面する問題を見た気がした。

私にとって、イギリスでの生活はいいことばかりではなかった。食事は、よく言われるほどまずいとは思わなかったがバリエーションが日本より少ない。トイレなどの水回りは日本のほうが良くできている。このように日本のほうが良い所も多い。それでも何とか生活ができたのだ。「結局人間は置かれたところで何とかやっていく」と、いうことだろう。実際問題、研修後半になるとイギリスの食事や住宅事情もだいぶ理解でき、また慣れてきた。

この感想文では書ききれないくらいたくさん事を学び、視野が広がった 10 日間だった。それだけに、ちょうど耳が英語に慣れてきた頃に日本に戻らなければならないのが残念でならなかった。また海外に行くと、視野をさらに広げたいと思う。とにかく、今回の研修楽しかった～！また行きたい！

### 東京都 中学3年 男子

イギリスでの語学研修を終えて、英語力の向上よりも自分の中での今までの考え方が変わったことを実感しました。思い通りにコミュニケーションが取れない相手と約 10 日間過ごして何回も電子辞書や翻訳アプリを使いたい衝動に駆られました。そこを抑えてなんとか伝えようとした結果、例え伝わらなくても「次こうすれば良いんだ」という考えが生まれるようになったことが自分でも驚いています。イギリスに行く前の自分には、失敗から物事を多角的に考え始めるということはそうなかったと思います。イギリスで一番実感したのはこういった点です。イギリスでは、沢山の貴重な経験を積んだり、様々な思い出ができました。1 番の思い出は Japan Night です。イギリスに滞在して向こうの文化を学ぶ中、自分たちの

文化を知ってもらおうという企画は日本にいる時からとても楽しみでした。思ったより多くの人に来てもらって、他の国の人たちと交流できて良かったです。ホストファミリー宅に帰宅した後、ホストファミリーに「最高だった」と言われた時は本当に嬉しかったです。

最後に、事前研修会での重い雰囲気色を色々なアクティビティで和ませてくれたリーダーの中村さん（チェリー）、また、高田さんに本当に感謝しています。あの事前研修会でのアクティビティなどが無かったら現地に行っても重苦しい雰囲気だったでしょう。今回の語学研修で学んだことを普段の様々な活動に活かしたいです。これからの英語学習にさらに力を入れ、そしてまたいつかイギリスで交流した人達に会いに行きたいです。短い間でしたが、自分には一生の思い出です。本当にありがとうございました。

### 新潟県 中学3年 男子

イギリスに行ってみて、感じたことがいくつかある。一つは文化の違いだ。私の想像をはるかに超えたギャップがそこにはあった。湯浴みや学校など様々な違いがあったが、特に強烈に印象に残っているものとして『食事』を挙げよう。日本とは違い、複数の皿に沢山の料理が並ぶのではなくメインのディッシュ1品に付け合わせが付く形式が殆どだった。また、味付けをテーブルにある調味料で行うケースも多々あった。そこだけでも大きな違いだが、私が最も驚いたのはその味だ。食材の旬や腕前などといった様々な事情があっただろうが、どれも私が今まで経験したことのない強烈で珍妙な味をしていた。正直に言えば、私の口には合わなかった。イギリス料理の悪評は世界的に有名であるが、その言わんとすることを体感できた気がする。

もう一つ感じたことは自分の英語の活用度だ。初日、私はホームステイ先で絶望した。ホストファミリーの英語が聞き取れないのだ。全く何を言っているのかわからない。今まで感じたことのない感覚だった。それでもなんとか聞き返したりジェスチャーしたりして意思是疎通できたが、それは果たして英語を使いこなせているといえるのだろうか。この発想は私の英語への上昇志向を高める結果に繋がった。学校の英語だけではなく、コミュニケーションにおける絶対的な知識がなければならない。また、英語云々の話とは少し趣旨が異なるが、コミュニケーションについて更に思うところがある。

私は元来、大勢人がいる環境では調和を優先する、日本人気質とも揶揄される思考の持ち主だ。だが、それはイギリスではむしろ邪魔になった。自分から進んで物事を言い、自己を主張せねばならなかった。この性格の上でこれがどこまで達成できたかは言うまでもない。この現象はイギリスに限った話ではなく、世界で共通するものだと思う。若い今のうちに気がつけたことが幸いだ。このままで世界に出たら確実に淘汰されていたことだろう。これらのことは、私がイギリスで感じたこのごく一部に過ぎない。だがその中で最も大事なことは、新たな環境で新たな友人を作り、そして無事に帰ってこれたという最も単純で、それでいて最も基本的なものだと思う。最高の体験だった。

### 新潟県 中学3年 男子

僕がイギリスへ行って感じた事は大きく2つあります。1つは日本の世界に対する小ささです。僕は、小さい頃から日本は先進国だから世界に出ても日本を見るだろうと勝手に思っていました。でもそれは全く違いました。1つ目は、飛行機の中でのアナウンスが英語と中国語のみと言うところで、日本の小ささを思い知らされました。ホームステイ先のマザーに、日本のことを紹介した時も、東京は知っていたものの、京都の事は全く知りませんでした。世界では日本はあまり意識されていないと、身をもって感じました。2つ目は、僕の世界の狭さです。日本にいる間に世界に対する大きな勘違いをしていたようです。日本にいる英会話の先生が皆優しいから、外国人は優しいと言う誤解をしていました。実際には、外国人の第1印象は愛想がないでした。ファーストフード店では、店員の表情に笑顔の1つもなく、客に対して怒りながら早く注文しろと焦らせるような感じでした。まさに日本と間逆です。初めは、外国のお店はひど

いと思っていました。でも、何度も行くうちに、「日本の店員が優しすぎるんじゃないか」と、思うようになりました。「あの怒っていた店員は店の回転を早くして、少しでも多くの客を店の中に入れるために客を焦らせていたのではないかと」と、考えました。つまり、外国人は、店をより多くの客が楽しめるように、店員と、客の両方が協力すると言う考え方だということです。そういった意味では、非常に冷静で合理的だと思います。悪い言い方をすれば、愛想重視の日本は、商売目的だと思えてきます。このような文化的刺激を受け、初めは恐れていましたが、今では逆に日本を軽蔑さえするほどです。とにかく外国人は合理主義で、目の前の人はどう思われるかよりも、全体で考えてどうすれば良い結果になるかを常に考えています。日本は愛想を大切にしているので、確かに接客は丁寧で良いのですが、巧言令色で、なんだか商売臭く感じます。

今回の海外研修で、たくさんの文化的刺激を受けました。その外人の思考を理解することで自分の世界観は一気に変わりました。日本は全然すごくなかったとしみじみ思いました。そして何よりも、言語が十分でない状態での意思の疎通が難しいと感じます。言語がどんなに大事なものがよく分かったし、それを作った人間は優秀だと思いました。

今後は、次の海外へ向けて英語の勉強をさらに頑張ろうと思います。なるべく毎日英語に触れて、研修の記憶を生かしていきたいです。そして最後に、一緒に研修に来て下さった中村（チェリー）さん、全国から集まった友達に感謝したいです。みんなのおかげで事前研修から不安がなくなって楽になりました。ありがとうございました。

#### 新潟県 中学3年 男子

料理が不味い。イギリスに関する情報はそれしか持ち合わせていなかった私のイギリス滞在。イギリスだからという理由ではなく、カリキュラムでこの滞在先を決めた。英語に触れるために行くのだ。だからイギリスに行くという事実は、正直どうでもよかった。私にとって、親戚の話くらいどうでもよかった。だが、イギリスへの無関心は実際に行ってみて関心へと変わった。風景、人、空気までもが日本と全くと言っていいほど違った。その突然の違いが私の心を動かした。

フライト前日、若干人見知りの私は初対面の人との会話は慣れないながらも、第一印象が大事な友達作りを成功させるため、積極的に話した。これのおかげで、イギリス留学の仲間となる精鋭達との距離が縮まった。人生初の機内泊。横にならずに寝るなど至難の技だと思っていた。ずっと映画を見ていたので眠気は感じなかった。映画に見入っていると朝になっていた。薄暗くなった小さな画面が、あと一時間あったはずの映画の終わりを告げていた。左には眠りに落ちた仲間、右には小窓から見える青空。気づいたら寝ていたのだ。寝ることができたためか、非常に快適なフライトになった。イギリスに入国したが、外に出て英語表記の看板を見るまで、外国に来た実感は湧かなかった。空港から出るとすぐバス。運転手が、外国特有の陽気なおじいちゃん。二時間ほどの移動だった。どれほど私たちのお尻を痛めれば気が済むのか…。学校に着き、わけもわからぬままホストファミリーに連れていかれ緊張感がマックスになった。それと同時に英語が聞き取れないショックを受けた。それまで英語に対する絶望は感じたことがなかったので、そのリスニングショックはこの留学の間中、心に残り続けた。学校は普段通っている日本のお堅い学校とは違い、ラフな感じで楽しく過ごすことができた。全てが英語なので、全神経を集中させ先生の話聞いた。これほどの集中をしたことはなかった。非常に良い体験となった。ホストファミリーとようやくなんとなくの意思疎通ができ、馴染むことができたのに時間は止まってはくれない。最終日、ホストファミリーとの別れの日。私は涙ぐんだ。しかし、別れは笑顔というのが私のモットーである。ホームステイの体験自体が初なので感謝がより一層深いものとなった。

私はこの旅で刺激された。この事業に参加して良かったと心から思っている。イギリスで体験したことはどんな些細なことでもイギリスの思い出として一生残るだろう。この思い出が、イギリスを私にとつ

て特別なものにしてくれたと感じている。

#### 埼玉県 高校2年 男子

イギリスに留学をして沢山の事を考え、学びました。その中でも大きく分けて3つの事について記します。1つ目は語学学校です。私は中級クラスで勉強をしました。同じ教室に英語を第二外国語とした、沢山の人種の人が集まっていました。サウジアラビア、タイ、中国、台湾、日本など。国によって独特な英語の訛りがあったり、自分とは違った考え方を持っている人たちと共に学べて良い経験になりました。また、親子で学校に通っている人もいて英語の学習は年齢関係ないと感じました。2つ目はホストファミリーについてです。私を受け入れてくれた家族は親子合わせて5人でした。日が経つにつれて距離が縮まりました。ホストファザーとは沢山会話をしました。アメリカの政治、ロンドンで起きたテロ、日本の宗教、EU 離脱について語りました。自分が上手く英語を話す事ができたら、もっと意見に肉付けができてより深い所まで語る事ができると思い、英語の学習を頑張ろうと思いました。本当に良い家庭に恵まれて感謝でいっぱいです。最後は、私たちを案内してくれたダリオです。午後の活動で出かける時に、私たちを見守ってくれました。最終日が近くなると、一緒に行動をしました。イギリス英語を教わったり、自分にとって、とてもためになる話をしてくれました。私が観光を楽しめたのは彼のおかげです。彼から学んだ印象に残っている事は、相手の気持ちを忖度する事です。自己中心的にならないようにするのがイギリス人の心得だと教えてくれました。この研修で様々な人に出会いました。一度きりの交流ではなく、持続的な関わりを持っていけるようにしたいです。ありがとうございました。

#### 福島県 高校2年 男子

今回イギリス留学&ホームステイに参加し、数多くの刺激を受けた。東京に集合した時、まずこのメンバーと一緒にやっていけるのか、自分が最高学年だから、まとめなきゃいけない等といった責任がすごくあった。しかし、周りを見ると皆が自分より大人びた感じだったので少し驚きだった。その後のオリエンテーションでは、自己紹介やミニゲーム、係り決め等をした。自己表現の苦手な私にとっては結構辛い部分があった。次の日に、飛行機で約一日かけてイギリスへ向かった。初めての飛行機での長旅だったのでとても疲れた。イギリスに着いてすぐにホストファミリーとのマッチング。ホストマザーが優しそうな人で良かった。その後で、ホストファミリーと昼夜を過ごした。学校ではクラス分けのテストがあり、その結果をもとにクラス分けをしたものの、自分がどのくらいの位地のクラスに居るかは、初めは分からなかった。先生やクラスメートと、授業を通していくなかで仲が深まった気がする。しかし、英語で全てコミュニケーションを取らなくてはならないので大変だった。また、学校に行く際に迷子になってしまい超あせった。平日は、午前中の授業は三クラスあり、午後は主に市街観光でした。Southbourne 見学や Christchurch 見学など、日本ではあまり目にする事の出来ない場所へ行けたので良かった。Japan night では、現地の人に日本の事について知ってもらうために様々な企画を用意した。個人的に言うと私は皆の前で PPAP を披露したりした。メチャクチャ恥ずかしかったが、会場が盛り上がったので良かった。日本文化紹介では、書道やけん玉お菓子など多くのコーナーを設け紹介できた。とりあえず現地の人を楽しませたなら JAPAN Night は成功だったと思う。